

学校教育目標：よりよく生きぬく釜っ子《よく考える子・たくましい子・思いやる子》

釜小だより

瑞浪市立釜戸小学校 学校だより NO2

令和 7年 4月30日(水)

5月 校長 玉置和也

校歌のように育つ子どもたち

4月7日の始業式、入学式から1か月が過ぎようとしています。釜戸小の子どもたちは、安全にそして元気に登校してきています。

さて、年度初めの始業式。子どもたちは、初めての登校です。「だれが担任の先生になるのか」とドキドキワクワクしながら学校へやってきます。新しく釜戸小学校に着任した先生を迎える着任式の後、前期始業式をしました。

始業式の始めに、校歌を歌いました。「みやまのみどり かがやいて あおぐひとみも ほがらかに わかい きぼうの 手をつなぎ みんな なかよく 学びます たのしい 釜戸小学校」の1番から3番までを伸びやかな声と豊かな声量で歌い上げる姿に、さっそく感動しました。

そして、始業式の最後にいよいよ担任発表です。きっと子どもたちはこの瞬間を心待ちにしていたと思います。「〇年生担任 ○〇 ○〇先生」と順番に発表していききました。担任が発表されるたびに「オー」と、それぞれの先生を受け入れ、歓迎、喜びの反応でした。「エ〜」ではない。このとても温かく肯定的な子どもたちの様子は、まるで校歌の一番の歌詞のようでした。

この4月、何度か釜戸小学校区の地域に出かけることができました。大湫公民館に用事があり、大湫への坂を上がっていくと、そこには「大湫の大杉」の幹が、神明神社の境内入口に鎮座しているように存在しているのを目の当たりにしました。また、公文垣内方面に歩いた時、中切公園前で巨石に出会いました。その石について「ご飯をたくかまどに似ているから、釜戸になったんだよ」と子どもから教えてもらいました。なんとと言うとよいのかうまく表現できませんが、釜戸小の子どもたちは、この地に育っているということを強く感じました。

この歴史と文化のある釜戸小学校に、朗らかな子どもたちがいます。家を出発するときの「行ってきます」や登校中の「おはようございます」がこの朗らかさを育て、保ちます。「行ってらっしゃい」「おはよう」と子どもたちに声をかけ、そして元気をもらいながら、釜戸小の子どもたちを育てたいものです。

